

月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「カッさん」

NETWORK

にしかわ

2022

令和4年

12月号

No.801



- 主な内容 -

P 2 | 西川の雪対策について

P 4 | ONSENガストロノミーモニターツアー開催

P 8 | 対話会について

P 12 | 令和4年度11月補正予算の概要

西川の雪対策について

1. 町道などの除雪について

●除雪車の出動基準

新雪深が10cm以上の場合や、気象状況から10cm以上になると判断される場合、また雪崩などで交通不能になった場合に除雪車が出動します。

●早朝除雪の作業時間

早朝除雪については、おおむね午前8時をめぐり1車線を確保することを目標とします。その後、公共施設などの除雪作業を行い、午前8時30分の作業完了を目指します。

●除雪路線の延長

町道の除雪延長は91・2km(うち交換路線8km)に及びます。これは、町道総延長(193・9km)の47・0%にあたります。このほか、公共施設の駐車場や、国道34kmと県道35・1kmを除雪するため、除雪の総延長は160・3kmにも及びます。

●除雪機械の稼働台数

除雪作業については全線委託作業とし、作業で稼働する除雪機械は、除雪ドーザ13台(町から委託業者への貸与6台、委託業者からの借り上げ7台)と、ロータリ除雪車2台、小型ロータリ除雪車1台の計16台を運用します。

●除雪支障箇所の把握

本格的な除雪シーズンに向けて、各地区の代表者と委託業者による現場確認や現地打ち合わせを行い、より支障のない除雪作業ができるよう、調整を図っていきます。

●集落道などの除雪対応の拡充

町が通常除雪をしない集落道などについては、区長または町内会長からの依頼により除雪作業を行う予定です。

お問い合わせ：建設水道課建設係 ☎0237-74-2116

2. 高齢者世帯等の除雪支援

●高齢者世帯等除雪支援事業について

自力で除雪ができない高齢者などの労力と心身の負担を軽減するため、高齢者世帯等除雪支援事業として「屋根からの雪下ろし」と「自宅玄関から公道までの除排雪」「自宅敷地内の除排雪」にかかる経費の助成を行います。

●該当要件

65歳以上の高齢者のみの世帯 重度障がい者のみの世帯 その他町長が特に必要と認める場合

申請のスケジュール：11月中旬に民生児童委員、区長、町内会長を通じて対象者の把握や申請書の提出をお願いしています。申請された方については、審査・支給決定後、ご連絡します。

申請の受付は3月末まで行います。各地区の民生児童委員などにご相談ください。

お問い合わせ：健康福祉課在宅支援係 ☎0237-74-3243

いよいよ12月。 本格的な降雪を前に雪対策について再確認しましょう



▲西川町除雪隊とにしかわ保育園年長児の皆さん



▲除雪安全祈願祭の様子



▲年長児の除雪車乗車体験の様子

本格的な雪シーズンを前に、11月22日、除雪安全祈願祭と除雪車の出動式が行われ、関係者らが作業の無事故を祈願。その後、にしかわ保育園で年長児の乗車体験が行われ、除雪車の窓から見下ろす景色に子どもたちから歓声が上がりました。

また、雪対策会議が11月7日に開かれ、各地区の区長、国土交通省山形河川国道事務所、村山総合支庁西村山道路計画課、寒河江警察署、西山山広域消防など関係機関が参加し、今シーズンの本町における雪対策について確認されました。

PhotoSnap



参加者の声

自然豊かな道を歩き、歴史に触れ、西川町ならではの美味しい食べ物、飲み物が堪能できて、最高！でした。志津温泉のパスポートも全制覇！旅館によって特徴があり、楽しめました。町のことをもっと知りたくなりました。

近場なのに、知らないことが多く、「いでは」神社や志津温泉の泉質など、良い体験をさせていただきました。次回もぜひ参加したいです！

西川の最高の笑顔に迎えられ、深く秋色に染まった月山山麓を満喫しながら楽しいウォーキングになりました。ほろ酔い加減で到着する各チェックポイントの食はどれも絶品でした。また参加したいです。

町を活気づけるために町民が率先して動く雰囲気を感じました。私たち海味ドリームクラブのメンバーには80歳をこえる人もいますがこのようなイベントにはやる気まんまんで、来年以降も参加したいと思っています。



めぐって、たべて、つかって堪能！

ONSEN ガストロノミーモニターツアーを初開催しました。



11月19日～20日にかけて、「晩秋の月山山麓ONSENガストロノミーin山形県西川町」というモニターツアーを開催しました。

ONSEN(温泉)ガストロノミーとは、その土地ならではの食や自然・文化を楽しむイベントで、全国各地で実施されています。今回のイベントは出羽三山信仰の伝承や山菜収穫・カヌー体験を盛り込んだ西川町ならではの企画であるため、観光庁「看板商品創出事業補助金」の採択を受けることができました。

初日は2班に分かれ、国指定重要文化財「岩根沢三神社」の見学とイベントをお楽しみいただきました。ボランティア60名が参加者100名をおもてなし。山伏の白装束を身にまとったお客様は、西川町歴史文化資料館・かわどい亭(吉川)をスタートし、月山トラヤワイナリー(吉川)、山竹商店(海味)、役場(海味)で休憩しながら、ゴールの西川交流センターあいべ(間沢)まで、歩いてめぐりました。

休憩スポットでは山菜料理や三酒(地酒・地ワイン・地ビール)、「月山和牛」を使用した芋煮などを振る舞い、お客様は西川町の食文化の高さに感銘を受けておりました。

道中では月山や寒河江川が見える場所や三山電車にゆかりのある自転車道路に写真撮影スポットを設置したことで、お客様自身SNSを使用して町の魅力を発信してくれました。

2日目は、弓張平公園の「苔の道」をめぐった後、なめこ収穫とカヌーに分かれ、晩秋の寒さを忘れるくらい体験を楽しんでいました。

初開催でしたが、お客様満足度97%(11月21日現在)と想定以上に高い評価となりました。西川町では来年度から5年間(春と秋の2回)、国の交付金を活用して開催する予定。

今回のルートも西川町らしさが伝わるコースといたく、ぜひ各地区のおすすめコースをご提案ください。そして、開催時は町の魅力再発見、魅力発信のため、ぜひ積極的にご参加ください。

お客様は、西川ファンになり、ボランティアスタッフも、西川の食・景色・可能性を再認識することができたほか、1つの目的を達成するために、楽しみながら笑顔で運営することができました。

まちづくりに関する活動や近況など西川町長・菅野大志が綴ります。



まちづくりに関する活動や近況などを西川町長・菅野大志が綴ります。

い よいよ冬本番！今冬の雪が気になる季節となりました。

町が実施した8月のアンケートでは、優先してほしい政策は「除雪」、満足度が高い事業も「除雪」でした。先日、除雪車の出動式が行われました。除雪作業員の皆さまは、西川町のエッセンシャルワーカー（私たちの生活を維持するために現場で働き続けなくてはならない方々）です！今冬もぜひ満足度の高い除雪作業を期待しています！3月までの長丁場で、さらに早朝、時には深夜の作業となりますので、健康に気を付けて、西川のためによりしくお願いします。



1・8億円を国から獲得し32名の雇用創出！

西川の財政を考えると、国のアイデア勝負の交付金から獲得する必要があります。今年は、職員の頑張りに加え、町内外での官民連携で実効性の高い事業を提案することができ、おかげさまで全勝（昨年0戦）となりました。新しい12事業が生まれましたが、これを実施するのは、役場ではなく、町内外の民間の企業です。アイデア勝負に勝ち抜き、雇用を確保したことで、西川町で働き、移住していただいた方がおります。

これから、多様な方々と対話しアイデアを磨き、補助を核として雇用を生み出すことを繰り返していきます。

町の予算を使わずに月山志津温泉の廃屋を解体！

十数年放置されていた月山志津温泉の廃屋は、11月に解体されました。公平性の観点から、廃屋解体に町のお金を使うことは難しく、解決の難しい事案です。

廃屋解体の唯一の補助金である観光庁の補助事業は、競争率が高いだけでなく、温泉宿の改修を5軒以上取りまとめなくてはならない調整力が試される補助金です。これに商工観光課柴田知弘課長補佐が短期間で粘り強く取り組み、結果、採択を受け、1億円の補助金とともに、解体費の半額を得ました。解体費の残り半額は、各方面に助けを求め、連携協定先の東武トップツアーズ（株）と（株）ローヤルエンジニアリングから企業版ふるさと納税を使った寄附をいただきました。

これにより、温泉街の景観が改善され、かわどい亭さんやドリームクラブさんなど町内のボランティアの方や、地域おこし協力隊のCASEさんが大活躍！参加者は西川の魅力を知り、ボランティアの皆さまも楽しく取り組んでいただきました。鈴木佑子さんの料理と、ゆずりはの会の月山なんぼ、岩根沢の三山神社が大好評！今後は、西川ファン獲得に向け、国の補助を得て、5年間で10回開催する予定です。これを継続して、西川ファンが定期的に集い、町民の皆さまとふれあい、私たちは西川の魅力に自信を深め、参加者は新たな人・魅力を知ってさらにコアな西川ファンとなるような事業にしていきたいです。



れ、西川への修学旅行向け旅行商品が生まれることにつながりそうです。

山菜（園地栽培）の安定供給に向けた事業を始めました！

西川町では、山菜の供給量が年々少なくなっています。原因は後継者不在。月山筍園地は管理が行き届かず、つるが張ってくる園地を見て心が痛むようになりました。

そこで、園地管理が難しい方に担い手を当て、園地を管理し山菜王国を維持しつつ、インターネットで販売を可能にして首都圏の販路先を開拓する事業を、商工観光課工藤文昭係長（当時）と企画。見事、農林水産部から実証事業（全額補助）の認定を受けました。

また、役場内で山菜と言えば、健康福祉課古沢一美課長補佐。早速、町内から手伝ってくれそうな方々と総合開発社員と共に、古沢課長補佐の指導を受け、岩根沢、小山、入間の、竹の間伐作業を実施。本来は、雪が降



る前に行うべきところですが、国の事業開始判定は11月下旬でしたので、雪の中の作業に。スタッフのほとんどは、間伐作業の未経験者でしたが、日光の入る園地となり達成感を味わいました。



ONSENガストロノミー（食べ歩きウォーク）お疲れさまでした！

11月19日・20日、今、全国で人気の食べ歩きツアーを西川町でも開催しました。参加者は、首都圏や香川県からの参加者もあり約100名。「もっといい季節にしたいらいいべ」という声をいただきましたが、これも実証事業認定（8割が国補助）が9月初旬でしたので。

このイベントでは、月山朝日観光協会を中

ふるさと納税2億円を目指して！



また、今回は吉川・海味・間沢コースでしたが、各地区のよいところを参加者にお見せしたいので、町や観光協会までコースのご提案をお寄せください！

ふるさと納税2億円を目指して！

今、役場の政策目標は、マイナンバー申請率75%以上と、ふるさと納税が2億円の2つ。後者は、12月が勝負の時！担当の商工観光課佐藤大陽さん、先月総合開発に入社した伊藤洋平さん、つなぐ課準備室の大泉聡さんを中心にさまざまなことにチャレンジ！私も、時間がある限り広報を頑張ります。

すので、ぜひ、町外に住むお知り合いの方に知らせのご協力をお願いします。役場にチラシがたくさんあります！なお、この寄附は、給食費の無償化と高校生の通学費補助の財源として充てられています。

最後に

11月も5回の対話会を開催しましたが、入間地区では、木質バイオマス発電を使ったハウス園芸（次世代型農業）への挑戦に関する対話会でした。私と、産業振興課工藤信彦課長、鈴木雄太係長の言葉を信じていただき、概ね賛同していただけたのは、とても嬉しかったです。成功すれば、全国の実例となるほか、地区の地域課題解決の一助にもなりますので、地域と一体となって進めてまいります。

12月もクラウドファンディングの講師役、ご要望のあった地区での語る会の開催、12月8日19時からのバスツアーに関する対話会など、皆さまとお会いできることを楽しみにしていきます！



ご登録
お願いします！



▲町公式LINE



▲オープンチャット



町の各事業や取り組みについてご紹介します。

路線バス・公共交通の対話会について

11月7日に第2回路線バスミーティング「路線バス・公共交通の対話会」を開催しました。高校生・高校生の保護者の皆さんに参加していただき、ご要望をお聞きしました。

寒河江駅線の増便について 寒河江駅発（道の駅にしかわ行）

- ①午後0時台の増便
 - ②午後2時台の増便
 - ③午後5時台の増便
- の提案に対してのご意見と優先順位を検討していただきました。

■テスト期間には午後0時台と、普段早く帰る時の午後5時台を要望したい。

【寒河江市内の高校に通う高校生】
■部活が終わるのは午後5時頃なので、午後5時台のバスがあると助かる。

【寒河江市内の高校に通う高校生】
■午後2時台は、山形市の高校に通学している生徒の立場からは必要性が高い。

【山形市の高校に通う保護者】
■午後0時台のバスは平日の定期テストに加え、外部模試、部活などもあり、土・日曜日もほしい。

【寒河江市内の高校に通う高校生】

■多数決の結果、優先順位 ①午後5時台、②午後2時台、③午後0時台となりました。

寒河江駅―道の駅にしかわ線については、西川町で運行し、その費用負担を寒河江市と西川町で路線の距離の比率で按分している、いわば共同運行です。今後、優先順位を基に寒河江市と調整していきます。

河北病院線・その他について

■バスが遅れることがある。寒河江駅で山交バスに乗り換える時に合わない時がある。 【高校生】
■谷地高校から山交バスの寒河江駅行に乗り、寒河江駅経由で帰る時、乗り継ぎができない。 【高校生】

今回のご意見にはすぐに対応できるものやすぐには対応できないもの、また、対応が難しいものがあります。が、より良い路線バスの運行について関係機関で協議し、可能な限りいただいたご意見を反映できるように取り組んでまいります。

お問い合わせ

町民税務課

☎0237・74・4118

入間地区木質バイオマス発電・次世代型施設園芸事業に係る対話会について

旧 入間小学校跡地を候補地として構想している木質バイオマス発電所及び次世代型園芸施設の整備について、11月8日に対話会を開催しました。

今回の対話会では、旧入間小学校跡地を候補地として町が検討している、間伐事業の未利用材（C・D材）などの森林資源を活用した木質バイオマス発電と、その発電所から排出される熱、CO2を活用した次世代型の施設園芸による持続可能な通年農業の経営モデルの構築を目指すという構想について、入間地区の皆さんから意見をいただきました。また、本構想を進めていくことについて、ご理解をいただき、あわせて次の4点について、進めていくこととなりました。

- ①ヒアリングで要望があった林道「西の沢線」の整備を進めること
- ②旧入間小学校体育館を存続させること
- ③地元の雇用創出を図っていくこと
- ④視察の受入などで地域への経済効果を生み出すこと



なお、入間地区を候補地とした理由として、現在旧入間小学校体育館・グラウンドの利用頻度が低く、有効活用を図るためであること、体育館は残し、校舎跡地部分に発電施設、グラウンドに園芸施設の設置を考えていることなどをお伝えしました。

今後も入間地区との対話を継続していき、令和5年度では県からの支援をいただき、来年度の調査には、専門家とも交えた上で、しっかりと調査を進めていきます。

地域づくりヒアリングについて

町 内全12地区を対象に、11月8日「地域づくりヒアリング」を実施しました。各地区からの要望については、令和5年度予算編成の中で優先順位をつけて協議してまいります。

地区名	町への主要要望事項
睦合	睦合河川公園管理作業の負担軽減
海味	海味大堰への小林沢、小林林道の側溝水流入防止対策
間沢	西間沢と宝沢地区の流雪溝整備
綱取	沼の平町内全線へのガードレール設置、側溝入替
岩根沢	町道桂林～西岩根沢間側溝整備
水沢	水沢堰頭首工付近崩落の抜本的対策
吉川	町道水口裏線の整備及び土砂災害警戒区域内の排水路整備
原・沼山	町道立目南野線舗装工事
入間	西ノ沢林道側溝整備と地区の負担軽減
小山	町道濁又線の早期復旧
本道寺	町道本道寺線風吹地区の路肩崩落災害普及工事
大井沢	「大井沢100年先もいきいき構想」の実現

「町芸術文化協議会」との対話会について

11月4日に「町芸術文化協議会」の対話会を開催し、加盟する団体から計13名の参加がありました。

は、今年度には、今年度更新するため、12月議会での予算化を行うところとす。



対話会の中では、「歳はとったが、文化祭の時期が近づいてくると気持ちが高まって、創作意欲は衰えませんが」という意見のほか、「あいべ大ホールの音響設備の改善を求める意見」をいただきました。

お問い合わせ

生涯学習課

☎0237・74・3131

持続可能な消防団組織へ 西川町消防団の今後を考える対話会

町 では今年度、消防団の持続的な運営を図っていくために「西川町消防団組織等整備計画」を策定しています。

この計画に対して議論するため、11月21日と25日の2日間にわたり消防団対話会を開催しました。

43名の団員の方々に参加いただいたこの対話会では、消防団員の報酬額や消防ポンプなど資機材の整備方

針、また、消防団の訓練のあり方などに対して活発な議論が交わされました。出された意見は、計画の策定に反映していきます。

お問い合わせ

総務課

☎0237・74・4404

町では町民の皆さんの「すっだいこと」の実現のため、補助金制度を創設しました。地域や年代の枠を超えて“面白いこと”“新しいチャレンジ”“わくわくドキドキな体験”を通じて地域の課題解決や魅力向上につながる活動に取り組む12団体の活動をご紹介します。



大井沢まるそば振興会 / 代表 志田 裕

活動内容：大井沢温泉「湯ったり館」で大井沢特産のそば粉を使用した打ち立て・茹でたての「伝統のまるそば」を提供。地域経済の好循環を促進します。



yamakobito / 代表 佐藤明希菜

活動内容：食の生産者との関わりを通して、子どもたちの豊かな感性を育む食育・農育事業です。食文化や自然を通じた町の文化の伝承、子どもたちの未来に向けた地域活性化の活動を行います。

太郎會 / 代表 秋場 徹

活動内容：屋台出店することで、町内のイベントへの子どもたちの参加を促します。将来的には「西川町縁日」を開催できる主幹団体を目指します。

おれんじルーム / 代表 大泉奈緒子

活動内容：学校に行きたいけれど行けない、行くけれど別室登校…そんなお子さんを持つ親の、ひと息つく場所「安心と笑顔」が生まれる親同士の交流の場を提供します。

西川町イルミネーション実行委員会 / 代表 松田 瞳

活動内容：町の特産品を活用したイルミネーションづくりのワークショップ、クリスマスイベントを実施します。イルミネーションで町を明るく照らし、子どもたちの特技を披露する機会を創設します。

にしかわRVパーク設立委員会 / 代表 工藤昌広

活動内容：町Vパークの設立に向けて、キャンピングカーメーカーやキャンプ用品メーカーと協力し、車中泊イベントを提案し、交流人口の拡大を図ります。

サバイバルゲームPJチーム / 代表 伊藤洋平

活動内容：町でサバイバルゲーム体験会を実現するため、プロジェクトチームを立ち上げました。フィールド施設の現地視察や装備の実地研修を重ね提案書の作成を行います。

冬花火打ち上げ隊 / 代表 志田昭宏

活動内容：クラウドファンディングと町の補助金を財源として、「雪旅籠の灯り」開催期間中の土曜日18時頃に花火を打ち上げ、さらなるにぎわいを創出し、町内外からの誘客と地域の活性化を図ります。

月山アーティスト イン レジデンス / 代表 坂本大三郎

活動内容：海外からアーティスト（グリッサゴーン・ティンナップタイ氏）を招聘し、異なる視点で町や月山の自然を感じ、子どもたちや地元の人々との交流を通じて芸術作品の滞在制作を行います。

にしかわの「すっだいこと」実現委員会 / 代表 吉田和恵

活動内容：子育て世代の有志が集まり、自分たちのやりたいことを叶えながら、地域の子どもたちが楽しめる環境をつくり地域の活性化を図ります。



ニシカワテニスクラブ / 代表 國分敏英

活動内容：卓球界で数々の記録を持つ齋藤清さんを招き、町民や小中学生向けに卓球教室を開催します。



月山剣玉遊戯倶楽部 / 会長 奥山隼人

活動内容：けん玉の大会や教室を実施することにより、子どもから高齢者までの世代交流を育みます。「月山けん玉」として西山杉の間伐材を利用した町の特産品づくりに寄与します。

「令和4年度西川町まちづくり団体活動補助金」の制度や各団体の活動について、詳しくは町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



町の各事業や取り組みについてご紹介します。

産業振興複合施設の整備に向けて「第1回町民ワークショップ」を開催しました

産

業振興複合施設は、官民連携、官民共創を強く推し進めるため、人やモノ、お金や情報が行き交い、「つなぐ・つながる」風景をつくることをコンセプトに整備していきます。

11月10日、前回の町民対話会に引き続き、町内の34人の参加者による1回目のワークショップを開催しました。今回のテーマは、「この場所で「すっだいこと」をみんなで作しよう！」。最初に自分事としてどんな場所になってほしいか、次に他の人の立場になって、みんなの居場所になるためには何が必要かといったことを話し合いました。

その中で、参加者の想いや期待することが次々にワークシートに書き込まれ、全部で340件のアイデアが集まりました。会場では、これらすべてのアイデアを参加者全員で共有しながら、一人ひとりがお気に入りの「すっだいこと」を選んでいました。

今後は、このワークシートから抽出されるキーワードを分類し、次のステップとして新しい施設の役割を

考えていくこととなります。ワークショップは、全4回を予定しており、開催の様子や内容は、町民の皆さまに報告していきます。

●お問い合わせ

商工観光課
☎0237・84・0566



西川菊まつりの対話会(計4回開催) 伝統文化の継承と持続可能な取り組みへ

西

川菊まつり実行委員、三山重陽会会員、西川町議会議員の総勢16名が参加し、11月18日に西川菊まつり対話会を開催しました。

【経過】

「町の補助金の支出も多く、町職員が協賛金を集めたり、なぜ菊まつりだけが優遇されているのか」という町民からの疑問の声が32件寄せられていました。また職員からも事務の効率化・改善が求められていました。本年度の補助金は160万円。菊まつりの会場が「西川町産業振興複合施設」の建設候補地としたことを契機に、今後のまつりのあり方について、3度にわたり、三山重陽会の方と協議を行いました。

町からの提案は、①道の駅にしかわの既存の施設での開催、②他の芸文団体の公平性を保つため既存の補助金の活用、③実行委員会事務局業務の移管と継続して総理大臣賞などの表彰を行うというものでした。実行委員会からは「これまでどおりの体制でなければできない」との回答を得ており、令和5年度当初予

算への計上を見送ることとしていました。

【今後の対応】
町の条例の花として、小学校の菊づくりは継続します。

道の駅に会場を移した場合、風対策が必要との意見があったため、ハード整備は町で行うことを新たに提案。その上で実行委員会として、①持続可能な取り組みであるか、②町民の理解を得られる取り組みであるか、③敷居が低く、参加者の裾野を広げる取り組みであるか、④町の観点で実行委員会から提案していただくことになりました。

●お問い合わせ

商工観光課
☎0237・84・0566



マイナンバーカードについて

町民税務課 ☎0237-74-4118

西川町のマイナンバーカード申請率は県内第1位の82.35%（12月4日現在）と町民の皆さんのご協力により、飛躍的な伸び率となりました。

なお、マイナポイントの受け取りは、12月中にカードの申請をする必要があります。まだ申請が済んでいない方はお急ぎください。12月中も月曜日の窓口夜間受付や個別訪問を受け付けています。詳しくは12月1日号のお知らせ版をご覧ください。

今号では、役場窓口などで多くご質問いただく事項について、掲載します。



何のために必要なの？

マイナンバーは、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関が保有する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されます。マイナンバー制度の導入のポイントは、下記のとおりです。

● 利便性の向上

これまで、町役場、税務署、社会保険事務所など公共機関に直接書類を提出するということがありましたが、住民票や課税証明書などの添付書類が削減されるなど簡単になります。また、マイナンバーカードを使っのオンラインでの確定申告などは既に定着しています。

● 行政の効率化

国や地方公共団体の間で情報連携、民間(会社)からの報告書類にマイナンバーが活用され、これまで相当な時間がかかっていた情報の照合、転記などに要する時間・労力が大幅に削減され、手続が正確でスムーズになります。

具体的にどう便利に？

● マイナンバーカード保険証

マイナンバーカードと健康保険証を一体化し、マイナンバーカード1枚で受診していただくことで、これまでできなかった、診療記録や薬剤情報などを医師がその場で確認することができるようになり、データに基づいたより良い医療を受けられるようになります。

現在、保険証利用に必要な顔認証付きカードリーダーなどの設置が進んでおり、令和5年4月からは、全ての医療機関・薬局において、マイナンバーカード保険証を利用して受診ができるように国で進めています。

また、自己負担の限度額証明書の手続きが不要となり、窓口での支払いを抑えることができます。

今後、マイナンバーカードを利用する便利なサービスが増えていきます。国ではマイナンバーカードをキャッシュカードやクレジットカードのように常に持ち歩いて使ってもらえるように幅広い活用方法を模索しています。

マイナポイントって？

令和4年12月までにマイナンバーカード作成の申請をした方に対しマイナポイントが付与されます。マイナンバーカードを作ると5,000、健康保険証としての機能を付けると7,500、公金受取口座登録で7,500、合計最大20,000ポイントが電子マネーカードなどにポイントとして付与され、2万円分の買い物に利用できます。マイナポイント申請はマイナンバーカードが手元に届いてから申請できます。基本的にご本人が行うものですが、役場窓口でもお手伝いしています。

国の交付金について

「デジタル田園都市国家構想交付金」はさらなるデジタル技術を用いて生活を便利にするために交付される国の補助金です。交付の審査においてマイナンバーカードの交付率を勘案する方針と報じられており、西川町は採択に関し大いに有利になりました。

令和4年度11月補正予算の概要

予算規模 3,721万円

11 月11日の町議会臨時会において、令和4年度西川町一般会計補正予算(11月補正予算)が議決されました。
今回の補正予算において計上した主な事業について紹介します。



① 物価高騰対策

物価高騰対策支援商品券配布事業
／3,537万7千円(全額、国補助)

エネルギーや食料品価格などの物価高騰による影響が大きい65歳以上の町民に対し、生活支援を目的とした1人あたり15,000円の町独自の商品券を配布します。



移動販売事業者支援事業／150万円(全額、国補助)

燃料高騰の影響を受けている移動販売事業者に対する支援を行い、高齢者などの買い物を下支えします。

※上記の2つの事業の財源は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てます。

② 観光地の高付加価値化

廃屋撤去支援事業／690万9千円(全額、民間資金で活用)

東武トップツアーズ(株)と(株)ローヤルエンジニアリングによる企業版ふるさと納税の寄附金の活用により、月山志津温泉の空き宿泊施設の撤去費用に対する支援を行い、観光地としての高付加価値化を図ります。



西川町立病院より

～地域と共に歩む病院として～

西川町立病院は、昭和52年に現在地に新築移転され、その後開設された保健センターなどと共に保健・医療・福祉の一体的なサービスを提供してきました。最近では、西村山地域医療提供体制検討会が開催され、地域における基幹病院のあり方や医療体制の再編について、議論されています。町民アンケート結果にもあるとおり、これまでどおりの機能を持続していきたいと考えていますが、人口減少や交通機関の発達などから年々患者数と診療費が減少してきており、新型コロナウイルス禍の中で、さらにその傾向が進み、経営も厳しくなっているのも事実です。

町立病院では、これからも病院機能を安定的に持続させていくために、町民に信頼され地域と共に歩む病院であり続けるために、町民の皆さんの「かかりつけ医」になることを目指しています。

「かかりつけ医」とは、日常生活における健康相談、もしものけがや病気による診察・治療・入院など「一手に引き受けて」健康をサポートする存在です。病気の予防や早期発見、早期治療が可能になり、必要に応じて適切な医療機関を紹介することもできます。

なお、今冬は季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が懸念されています。オミクロン対応ワクチンの予防接種も進めています。インフルエンザワクチンも十分確保してありますので、これから接種したい方については、お問い合わせください。



西川町立病院 ☎0237-74-2211

図書館さ、いぐべ～。

【お問い合わせ】
西川小学校図書館 ☎0237-85-0077

雑誌 リサイクル市 を開催します。

- 日時・・・2023年1月5日(木) 9時開館(なくなり次第終了)
- 内容・・・図書館で保存期限の過ぎた雑誌を無料でお譲りします。
- 対象・・・どなたでも
- その他・・・ひとり10冊までお持ち帰りいただけます。
 - 持ち帰り用の袋をご持参ください。
 - 事前の予約や取り置きは承りません。

12月のおはなし会

日時：12月24日(土) 10時30分から

- 絵本・・・クリスマスかぞえうた、他
- 大型絵本・・・りんごがドスン
- しかけ絵本・・・プレゼント、あけてみて!
- パネルシアター・・・クリスマスといえば
- 工作・・・紙でつくるクリスマスツリー
(プレゼントもあるよ!)

※新型コロナウイルス感染防止対策を実施したうえで開催します。

「ピオトープ展」開催中です

11月14日、西川小学校が整備を進めてきた「水辺の楽行(がっこう)整備事業」(ピオトープ)の完成式典が行われました。

ピオトープってなんだろう? という方もいらっしゃると思います。図書館では、西川小学校のピオトープの写真と、ピオトープに関する資料を展示貸出しています。



～おめでとうございます～ Congratulations!

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

西川中学校の各部活動が新人戦で活躍

11月中に開催した各種大会で活躍された西川中学校の皆さんの成績をお知らせします。

西川中学校剣道部

11月3日/村山地区中学校新人剣道大会

会場：寒河江市市民体育館

成績：第3位▼西川中学校A

2年・飯野翠、1年・岩本陽夏、
1年・飯野真琴

西川中学校バレー部

11月12日/山形県中学校新人体育大会男子

バレーボール競技決勝大会

会場：山形県総合運動公園

成績：第3位▼西川中学校



▲西川中学校剣道部の皆さん

自動車安全運転協議大会で 西村山地区が団体優勝

10月23日、山形県自動車安全運転競技大会が総合交通安全センター(天童市)で行われ、本町から佐藤雄太さん(ケアハイツ西川)、渡辺いずみさん(同)が寒河江西村山地区代表として出場しました。

佐藤さんはAクラス優勝、渡辺さんはBクラス第4位の成績を収め、団体優勝に大きく貢献されました。



▲ケアハイツ西川から出場された佐藤さん(左から1番目)と渡辺さん(同3番目)

消防団活動に尽力 大泉敬夫さんが藍綬褒章を受章

この度、令和4年秋の褒章で西川町消防団副団長の大泉敬夫さん(入間)が「藍綬褒章」を受章されました。藍綬褒章は公共に従事し、功績のあった方に贈られるものです。

大泉さんは昭和61年4月に西川町消防団に入団し、長年にわたり消防団活動に精励されています。平成20年に指導員として出場された第21回全国消防操法大会では、チームの結束力を高め、見事全国5位入賞に導きました。

また、平成29年の副団長就任後は、常に団員とのコミュニケーションや連携を重視され、団員の育成に努めるなど、幹部として指導力を発揮されてきました。

消防団活動に対し、大泉さんは「優れた消防人である先輩方に感化され、周囲から長年心強い協力をいただいたおかげで、入団37年目を迎えることができました。『自分の地域は自分で守る』という意志を持ち続け、今後も活動に励みたい」と話してくれました。



▲大泉敬夫さん

ねいねいひろば

保育目標

- 雪のようにきらきら輝く子 ●緑のようにやさしくあったかい子
- 太陽のようにつよくたくましい子



▲祖父母参観の様子

おじいちゃん、おばあちゃんは、久しぶりの行事の参加となり、生き生きとした子どもたちの姿に、感動でいっぱいでした。

祖父母参観

保育園コーナー

コロナ禍になり、人数制限のある中で行われる行事は、おじいちゃん、おばあちゃんの参加がなかなか難しかったのですが、今年は試行錯誤の末、11月5日、年長さんのみの祖父母参観を開催しました。



▲祖父母参観の様子



▲除雪車乗車体験の様子



除雪車乗車体験
11月22日、年長さんが参加したの除雪安全祈願祭が行われ、その後、年長さんは特殊車両に乗せてもらいました。除雪車からの眺めは最高だったようです。貴重な体験をありがとうございました。



▲ぽっかぽかの様子



11月18日、笹原先生を招いて親子ヨガ教室を開催しました。ヨガの効果で体も心もリセットできました。
12月もいろんな行事を用意してお待ちしております。ぜひ参加してくださいね。

ぽっかぽかコーナー

11月の「ぽっかぽか」

健康運動指導士・伊藤貢先生の

元気アップ！ 運動講座 PART295



伊藤 貢さん

今月のテーマ：

運動は継続が大切。冬は体を動かす機会を意識的に作りましょう！

お腹（腹筋）に力をつけましょう！

～5回×2セット！～



やり方

椅子に浅く座り、腕を胸の前で組み、体を丸める

① 4秒かけて体を後ろに倒す

② 4秒かけて起き上がる



ポイント

●目線はお腹（へそ）を見る

●呼吸を止めない（踏ん張らない）

●椅子の背もたれに背中が軽く触れたら、起き上がる

※痛みは体からの赤信号のサインです。体に痛みを感じたときは運動を中止してください。
※柔軟性には個人差があります。関節可動域制限のある方や、体が硬いと感じる方は、無理のない体勢に調節してください。

トレーニングで獲得した効果は、トレーニングを中止すると失われてしまいます（元に戻ってしまいます）。継続することでその効果を維持していくことが大切です。
特に「冬」の時期は、活動量が減らないように、ご自身で体を動かす機会や動かせる場所（環境）をつくり、体力を維持していきましょう。
毎週水曜日の14時から、西川町民体育館で「楽楽運動教室（奇数週）」「ゆる楽運動教室（偶数週）」を開催しています。体育館には暖房もあり、冬でも快適な運動環境で体を動かすことができます。また、健康運動指導士が安全で効果的な運動を指導します。個人に合った運動のアドバイスもさせていただきます。一緒に楽しく体を動かし、元気でイキイキとした毎日にしていきましょう。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

参考・引用資料：運動プログラム作成のための原理原則「安全で効果的な運動を行うために厚生労働省/生活習慣病予防のための健康情報サイト」ヘルスネット
(<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/exercise/s-04-001.htm>)

西川町保健センター

まちの保健室より

町の保健師・管理栄養士からのお知らせです



みんなで知ろう、認知症 ～認知症は自分ごと～

認知症とは…いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなるためにさまざまな障がいが起こり、生活する上で支障がおおよそ6カ月以上継続している状態を言います。

物忘れと認知症の違いは？

老化による物忘れは「夜ご飯、何食べたっけ？」など、体験の一部を忘れますが、認知症による物忘れは「まだご飯を食べてない！」など、体験自体を忘れてしまいます。

認知症には種類があるの？

アルツハイマー型認知症が全体の50%で一番多く、脳血管性認知症（15%）や、レビー小体型認知症（15%）などがあります。

認知症は予防できるの？

- 脳血管性認知症やアルツハイマー型認知症の予防には、運動や食事をはじめとする生活習慣病の予防が効果的です。
- 脳の活性化を図ることが効果的です。（笑う・話す・ふれあう・役割や日課を持つ・ほめる、ほめられる）

※認知症の早期発見、早期対応はその後の認知症の方の生活を左右する重要なことです。専門医への早期受診も大切です。

認知症に関する相談については、健康福祉課・地域包括支援センターまでお問い合わせください。
☎0237-74-4405



皆さんの周りの身近な話題をお寄せください。政策推進課情報推進係

0237-74-4403

joho@town.nishikawa.yamagata.jp



▲メール送信

思いを込めた卒業証書を手作り 月山和紙の紙漉きを西川小6年生が体験

伝統の月山和紙による卒業証書作りが11月16日、西川小学校で行われ、和紙職人の渋谷尚子さん(大井沢)の指導のもと、6年生26人が紙漉きを体験しました。児童たちは木枠にコウゾなどを混ぜた水をしずく、前後に揺すって繊維を絡める行程を体験。作業後は「月山和紙の卒業証書をも



▲月山和紙の紙漉きを体験する児童

らうのが楽しみですよ」と笑顔で話してくれました。

西川小学校PTAが全国表彰受賞 親も共に情報通信を学ぶ活動に評価

西川小学校PTA(尾形順一代表)が11月18日、PTA全国表彰を受賞されました。

これは、PTAの取り組み「親も共に学び活用するICT(情報通信)機器」と、母親委員会の取り組み「朝ごはん作成による生活リズム習慣化」が評価されたものです。尾形代表は「これからも子どもたちのために活動してい



▲PTA全国表彰を受け取った尾形順一代表(中央)

きたい」と話してくれました。

地域材「西山杉」を活かして関係人口拡大へ 日建設計コンストラクション・マネジメント(株)と協定締結

東京スカイツリーの設計などを手掛ける日建設計のグループ会社である、日建設計コンストラクション・マネジメント(株)との包括連携協定締結式が11月21日に開催され、町と協定書を取り交わしました。本協定は、同社が持つ豊富な情報を活かし、森林活用による観光振興などによる地域活性化を目的としています。



▲締結式の様子

今後、西山杉と町の自然、移動式サウナなどを活用した事業を展開し、さらなる関係人口の拡大を目指していくこととしています。

応援を力に63.7kmを駆ける 西村山地区駅伝で西川チームが健闘

11月13日、第68回西村山地区駅伝競走大会が行われ、西村山管内の8区間を参加チームの選手が駆け抜けました。本町からは西川A、西川Bの2チームが出場。8人がタスキをつなぎ、西川Aは3位、西川Bは6位でゴールしました。また、海味公民館前では、西川



▲海味地区を駆けぬげる西川チームの選手

小学校の5・6年生が太鼓の演奏で選手にエールを送りました。

吉川蕎麦打愛好会の打ち立て新そばに舌鼓 第5回吉川そばまつり開催

「吉川そばまつり」が11月21日、かわどい亭で開催され、新そばが振る舞われました。

今年で5回目となる本まつりは、吉川蕎麦打愛好会(高橋勇吉代表)が地域おこしの一環として始めたもの。当日は愛好会の皆さんが腕を振るい、大井沢産の「北早生」を100%使用した手打ちそばが提供され、訪れた町内外の方



▲吉川そばまつりで新そばを味わう来場者

60人以上が香り高い新そばを味わっていました。

町職員が「イクボス宣言」 誰もが働きやすい職場づくりを目指して

町役場で10月21日、NPO法人ファザリング・ジャパン(東京都千代田区)の安藤哲也代表理事の立ち合いのもと、町長、教育長、幹部職員、係長級以上の職員総勢60人が「イクボス宣言」を行いました。参加者は、部下の仕事と生活の両立を考え、キャリアと人生を応援しながら、自らも仕事



▲イクボス宣言式の様子

と私生活を楽しむ上司(イクボス)となることを誓いました。

豊かな自然の大切さを学ぶため 西川小学校「水辺の楽行」が完成

西川小学校が進めてきたピオトープの整備工事が完成し、11月15日、「水辺の楽行」の完成記念式典が行われました。

今回の整備は(株)ローソンが店頭で集めた募金を活用し、(公社)国土緑化推進機構が行う「学校環境緑化モデル事業」の支援を受けて行われたものです。式典には小学校児童や関係者など約70人が参加。6年生代表児童がお礼を述べた後、2年生児童がピオトープに外来生物が入らないよう、プラ



▲西川小学校「水辺の楽行」完成式典の様子

カードを持って呼びかけました。

デマンド型(予約)乗合タクシー 愛称最終審査について(応募数86件)

11月7日に開催した「路線バス・交通の対話会」において、参加者の方に町のデマンド型乗合タクシーの愛称の審査をお願いし、候補を12作品までに絞り込みました。この度、最終審査を行います。

審査方法

- ① 役場、交流センターあいべ、保健センター、病院に投票用の張り紙を設置します。
- ② 西川町電子申請サービスから電子投票ができます。

https://s-kantan.jp/nishikawa-u/offer/offerDetail_initDisplay.action?tempSeq=7341



審査期間

12月19日～26日まで

お問い合わせ

町民税務課 ☎0237-74-4118

